



まつ

もと

じゅん

中区・磯子区・金沢区

松本純

まちかど
政治瓦版



平成31年1月1日号
発行
かながわ
1区支部
発行責任者
平木 茂

1月号
2019年
No.193

松本純ホームページ 毎日更新中! <http://www.jun.or.jp>

▶検索キーワード「松本純」

「OLD」と「NEW」が融合した新しい横浜が誕生

桜木町駅再開発が決定 みなとみらい、北仲、野毛地区が一体化



桜木町駅に誕生する地上12階建ての駅前複合ビル（2020年完成）

松本純のライフワークは街づくり、野毛の街の衰退との戦いから政治生命が始まりました。

念願の野毛の玄関口である桜木町の駅の再開発が決定しました。桜木町駅は、1872年に日本で初めて鉄道の駅が設置された駅であり、日本の鉄道の発祥の地です。それを記念する展示と共に、新改札と新たな宿泊施設「JR東日本ホテルメッツ桜木町（仮称）274室」店舗及び子育て支援施設「CIAL桜木町別館（仮称）」の建設が始まります。

また、新たにできる新改札と3つのデッキにより、新市庁舎と開発が進む北仲通地区が結ばれる予定になっており、街の一体化と安全な人の回遊路が構築されます。

みなとみらい線沿線の開発も2020から21年を目指して進む予定になっており、国際観光都市横浜の発展が目に見えるものになる予定です。懸案であった『教育文化センター跡地』の事業予定者も『関東学院』に決定し、様々な分野での産学連携、2500人を超える学生の学ぶキャンパスができる予定になっています。

また、今月には現支庁舎街区において公募がスタートするなど、横浜全体の一体的な再開発のめどが立ってきました。

明治維新の開国と共に海洋都市として発展してきた横浜、歴史と共に古きよきものを残しながら、新たな日本の顔としての側面も持っています。また、野毛地区など昭和の香りを強く残す街もそれを支えています。しかし、問題はこれ

が一つに融合
できていなか
ったことです。

今回の開発
により、明治、
大正、昭和、
平成、そして、今年始まる新たな御代が一つになり、新しい日本が生まれます。その中心となるのが、松本純を育てくれた街である野毛であり、桜木町駅になるのです。



横浜市新市庁舎（2020年6月完成）



ザ・タワー横浜北仲（2020年2月完成）



(仮称)新港地区客船ターミナル完成予想図（2019年完成予定）



新たなハーバーリゾートを目指す山下ふ頭（空撮写真）

※画像は完成予想図です

いま地域で
(人・まち・出来事)

「イセザキ6丁目」に昔の賑わいを再び

ザキ六新興会 初代会長 田中大嗣さん（中区）



イセザキ町商店街は、明治の頃からの老舗商店が軒を連ねる横浜を代表するショッピングストリート。中区伊勢佐木町1丁目から7丁目に及ぶ約1.4キロの周辺にはかつては遊郭があり、映画館や劇場、近年では若者たちのストリートライブの名所としても注目を集めてきました。「ところが、6丁目商店街といえば、10年ほど前からすっかりシャッター商店街に姿を変えてしましました」と話すのは、伊勢佐木町6丁目に店を構える大正7年創業「田中薬局」4代目店主の田中大嗣さん。「古くからの経営者たちが街を去ると、通りは汚れ、通行人が平気でゴミを捨てていくようになりました。そんな荒れ果てる通りに危機感を覚えたのは、この街で青春を過ごし、この街を故郷とする店の二代目、三代目たちでした。田中さんは彼らに呼びかけ、毎朝8時から路面の汚れをデッキブラシで落とし、吸殻や飲み捨てられたペットボトルなどを拾う等の「掃除会」を始めるうち、「なんとかこの街に賑わいを取り戻せないか」と意見交換が始まりました。平成25年、6丁目の若手経営者7人が「ザキ六新興会」を結成、毎年6丁目の通りに地元商店のフードコートを出店、生バンド演奏などを行う恒例イベント「ザキ祭り」をスタートさせる等、街の活性化に取り組みました。「自分たちで出来ることを継続し、なんとか昔の賑わいを取り戻したい」と、田中さんは笑顔で熱き想い語ってくださいました。

[2018年12月]

松本議員の活動記録

- 11月29日●日本薬剤師会面談
 - 全国農業委員会会長代表者集会要請活動
 - 社会保障制度調査会設立懇談会
- 30日●全国市議会議長会国会対策委員会要望
- 12月1日●自整振一区政策研究会
 - 野毛薬科大学(愛称)例会
- 2日●かながわ薬剤師フォーラム2018
 - 演説忘年会



- 11/30 八亀忠勝氏旭日小綬章祝賀会
●八亀忠勝氏より旭日小綬章をいただくにあたり、多くの方々に支えていただいた事への謝辞と「もう少し現役で頑張って精進して参ります」とのご挨拶がありました。

- 11/30 純美会忘年会●「純美会」は、松本純代議士が平成2年に市会議員に当選した頃からの後援会。「酒味ぬひととき」での忘年会では市会議員時代の思い出話に花が咲き、大いに盛り上がりいました。

- 11/30 国会見学ぞくぞくと！かおり幼稚園ご一行●丸山征園長先生をはじめ、地元磯子区のかおり幼稚園父兄ご一行12名様が国会見学に。衆議院内自由民主党総裁室で代議士と充実した意見交換でした。

- 12/2 横浜ヨット協会クリスマスパーティー●横浜ヨット協会は130年以上の歴史ある協会。阿久津壽理事長は今年の長期海洋実習や第13回市長杯レースの成果から組織をさらに充実させたいと話されました。

永田町日記

日本に実在する洋式宮殿、赤坂離宮迎賓館

赤坂に世界に誇る洋式宮殿が存在します。皇居宮殿での歓迎晩餐会の答礼など、外交儀礼のための接宴として、天皇や皇族などが臨席し、晩餐会の会場となる迎賓館です。これまで迎賓館は非公開でしたが、2016年度から観光振興のためユニークベニュー政策の一環として、一般公開が始まり、日程次第になりますが、松本純の国会見学会でも希望の方をお連れしています。

迎賓館の建物は1909年（明治42年）に東宮御所として、鹿鳴館などを設計したお雇い外国人建築家ジョサイア・コンドルの弟子にあたる宮廷建築家片山東熊の設計で元紀州藩の屋敷跡に建てられました。第二次世界大戦後、赤坂離宮の敷地や建物は皇室から国に移管され、国立国会図書館、法務省法制意見長官、裁判官、弾劾裁判所、内閣憲法調査会、東京オリンピック組織委員会などに使用され、現在は、外交施設として利用されています。ネオバロック形式の豪華な建物と内装は、非常に美しく、2009年旧東宮御所（迎賓館赤坂離宮）として国宝に指定されています。また、完全な洋風に見える建物と各部屋の内装には『日本』を象徴するものを必ず入れるギミックが施されており、和風別館と共に西洋と和の融合を各所に見ることができます。

